



日本のひなた 国スポ・障スポ 手話・要約筆記ボランティア養成事務室だより

NO.1

令和9年（2027年）、宮崎県で国民スポーツ大会（国スポ）・全国障害者スポーツ大会（障スポ）が開催されます。

宮崎大会に向け、手話・要約筆記ボランティア（手話通訳者・要約筆記者 600名）の養成事業を手話・要約筆記ボランティア養成事務室（宮崎県聴覚障害者センター）で始めました。

大会開催までの約2年半、障スポ関連の情報を中心にお届けします。

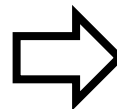
職員紹介

- ★事務担当：金丸 哲也
- ★手話担当：盛田 弘
- ★要約筆記担当：長池 浩子



<障スポとは>

昭和39年（1964年）に開催された東京オリンピックをきっかけに、その翌年から始まった大会です。平成13年（2001年）から全国身体障害者スポーツ大会と全国的障害者スポーツ大会が1つにまとまり全国障害者スポーツ大会となりました。



<48年ぶり開催>

宮崎県では、昭和54年に第34回大会「日本のふるさと宮崎国体」「第15回全国身体障害者スポーツ大会」を開催していますので、今度の大会は48年ぶりとなります。

<大会スローガン>

昭和54年の「日本のふるさと宮崎国体」を経験された方もおられると思います。大会スローガンは「伸びる心・伸びる力・伸びる郷土」でした。



今回のスローガンは「紡ぐ感動 神話となれ」です。

手話・要約筆記ボランティア出前講座のお知らせ



宮崎県で令和9年（2027年）に開催される「日本のひなた 国スポ・障スポ」には、全国から多くの選手や関係者がいらっしゃいます。

特に、全国障害者スポーツ大会は、障がいを持つ選手、観客などへの情報提供やさまざまなサポートを行う手話・要約筆記ボランティアが必要です。

出前講座では、過去の大会の手話・要約筆記ボランティアの活動の様子や宮崎県における取組計画などを、パワーポイントで説明いたします。

まずは話だけでも聞いてみませんか？出前講座の申込みをお待ちしております。

《所要時間》 約30分
(時間調整可能です)

《講師派遣費用》 無料

【問合せ先】手話・要約筆記ボランティア養成事務室
TEL：0985-38-8733
FAX：0985-29-2279
E-mail：miyajobora-2027@wing.ocn.ne.jp